

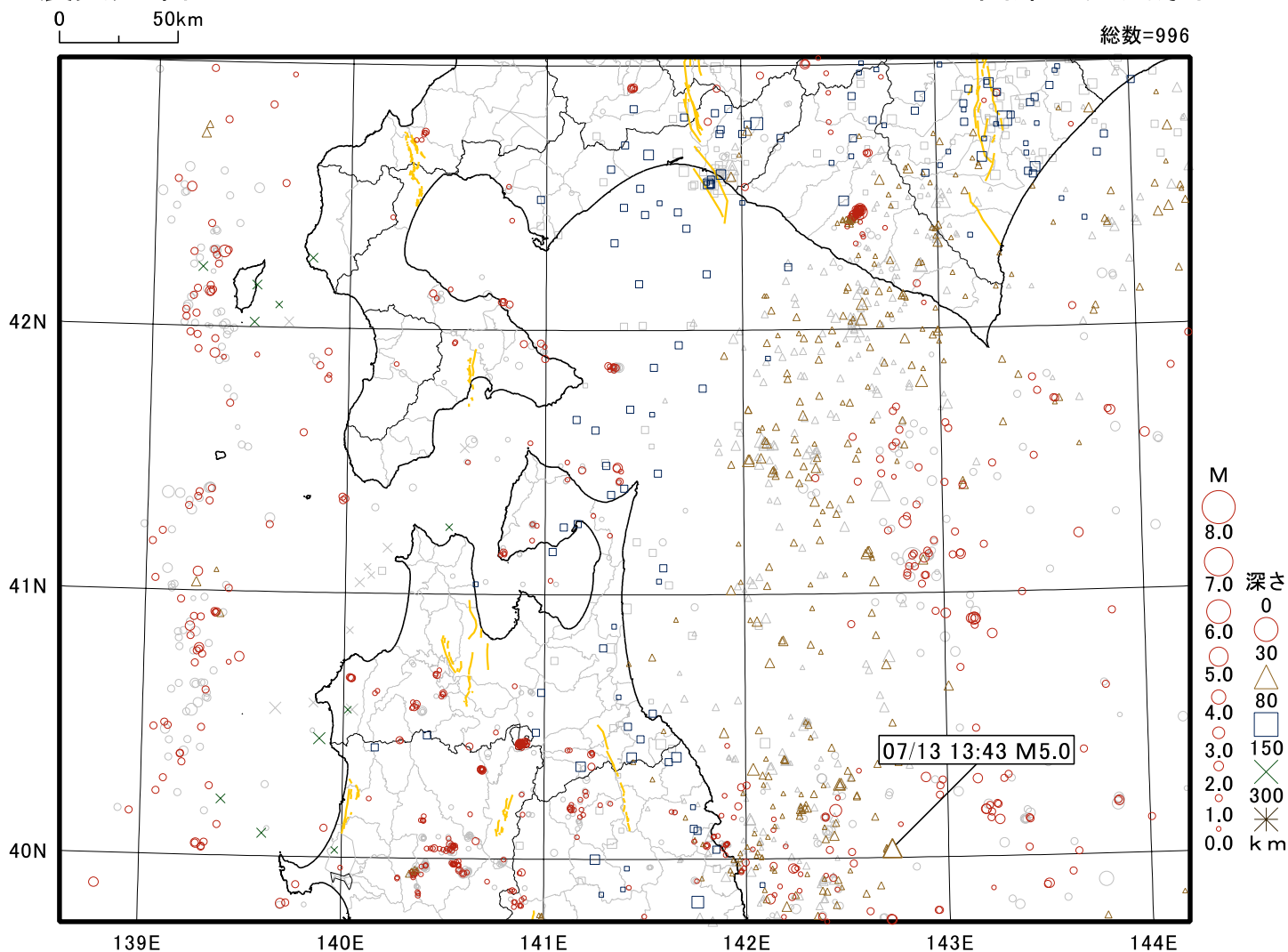
渡島・檜山地方の地震活動図

2023年7月1日～2023年7月31日

震央分布図

函館地方気象台

総数=996



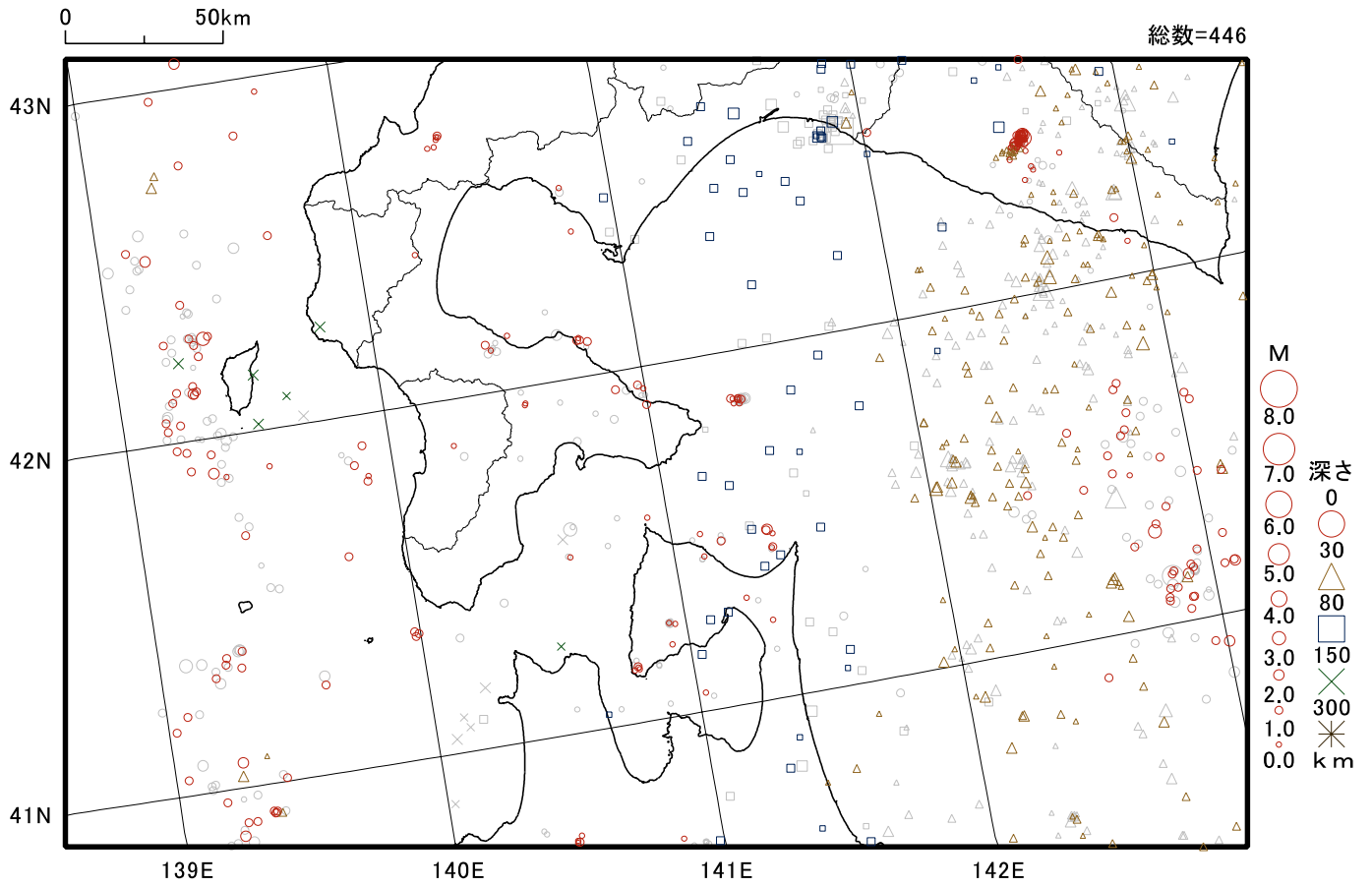
地震概況（2023年7月）

この期間、渡島・檜山地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は1回（6月は12回）でした（詳細は「渡島・檜山地方で震度1以上を観測した地震の表」参照）。

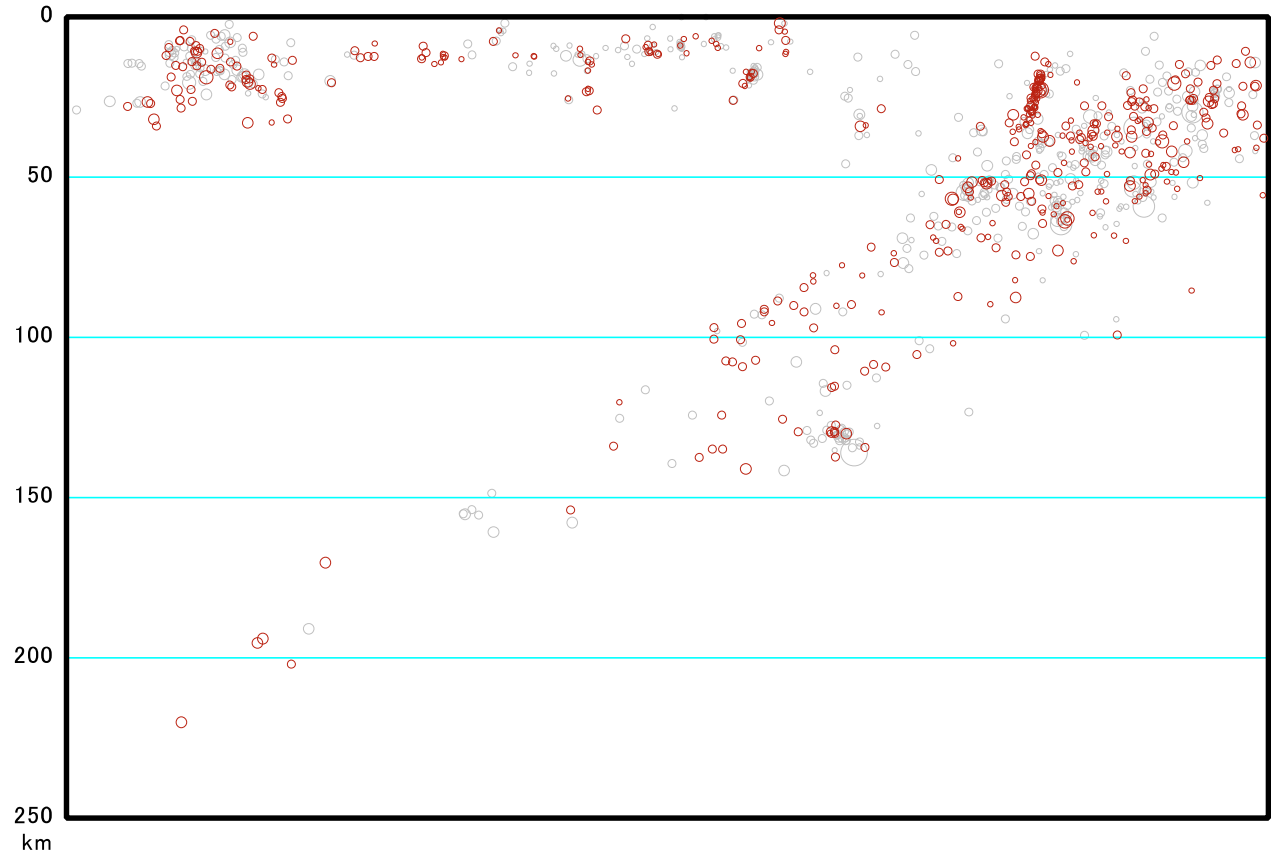
13日13時43分、岩手県沖の地震(M5.0、深さ34km)により、函館市泊町で震度1を観測しました。

2023年7月1日～2023年7月31日

震央分布図



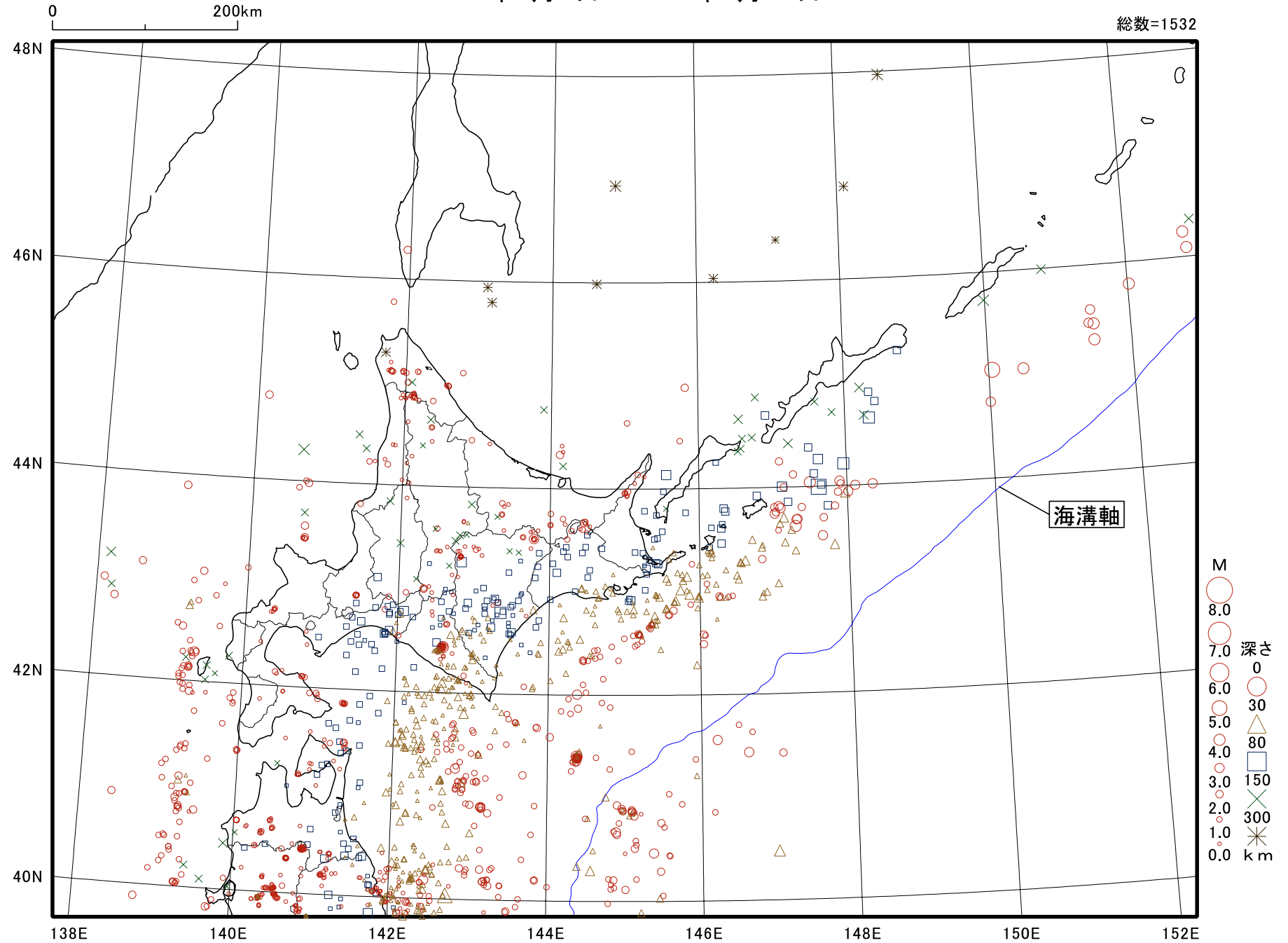
断面図



北海道の地震活動図

2023年7月1日～2023年7月31日

震央分布図



渡島・檜山地方で震度 1 以上を観測した地震の表（2023年7月）

年	月	日	時	分	震央地名	北緯（N）	東経（E）	深さ（km）	規模（M）
		地方	震度		震度観測点名				
2023年	7月	13日	13時	43分	岩手県沖	40° 02.1' N	142° 43.3' E	34 km	M5.0
		渡島地方	震度 1		函館市泊町* (08)				

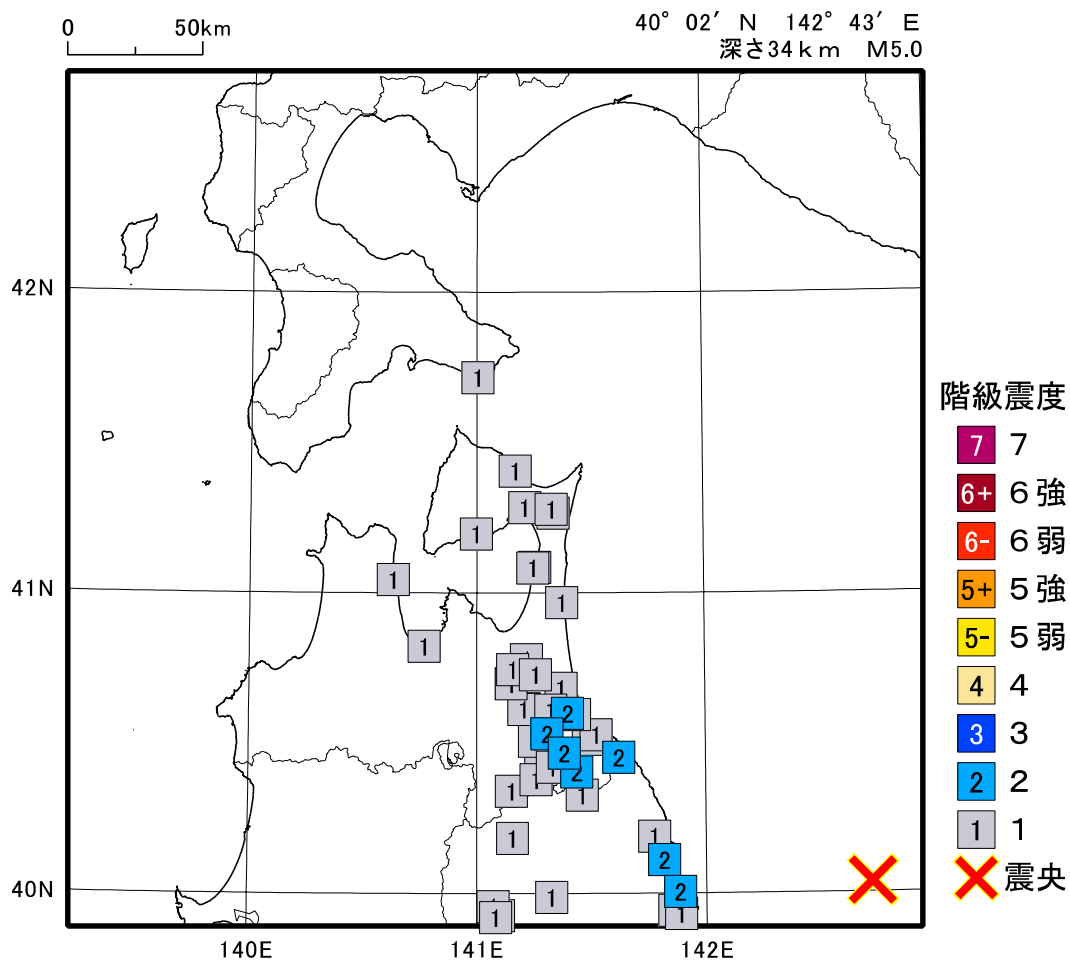
*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

()内の数値は0.1単位の詳細な震度（計測震度）の小数点を省略して表しています。

計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

2023年 7月13日13時43分 岩手県沖の地震の震度分布図



本資料の利用にあたって

- 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

【防災メモ】

～気象庁が発表する地震情報について～

気象庁は24時間体制で地震・津波を監視しています。地震が発生した場合は、収集したデータをもとに、防災対応の初動に迅速に活用できるよう、地震に関する情報を作成し発表しています。地震情報の種類と発表するタイミングについては以下のとおりです。

地震発生！

約数秒～
十数秒

「緊急地震速報(警報)」

震度5弱以上の揺れが予想された場合、または長周期地震動階級が3以上と予想された場合に、地震の発生時刻、地震の発生場所(震源)、地震の規模(マグニチュード)、震度4以上または長周期地震動階級3以上が予想される地域名^{※1}を発表。

なお、緊急地震速報には警報のほかに予報がある^{※2}。

約1分半～

「震度速報」

震度3以上を観測した場合に、観測した地域名^{※1}と地震の揺れの検知時刻を速報。

約3分

「震源に関する情報」

震度3以上を観測した地震で、津波による災害のおそれがないと予想される場合に「津波の心配がない」または「若干の海面変動があるかもしれないが被害の心配はない」旨を付加して、震源やマグニチュードを発表。

約5分

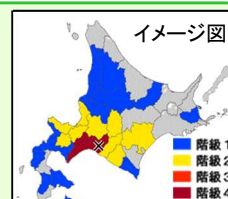
「震源・震度情報」

震度1以上を観測した場合や津波警報・注意報・津波予報、緊急地震速報(警報)を発表した場合に、震源やマグニチュード、各観測点で観測された震度、震度3以上の地域名^{※1}と市町村毎の観測した震度を発表。震度5弱以上と考えられる地域で震度を入手していない地点がある場合、その市町村と地点名を発表。

約10分

「長周期地震動に関する観測情報」

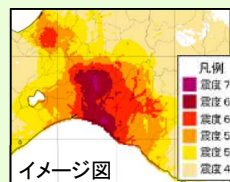
地域ごとの震度の最大値・長周期地震動階級(高層ビルなどでの長周期地震動による揺れの大きさの指標)の最大値のほか、個別の観測点毎に、長周期地震動階級や長周期地震動の周期別階級等を発表。



約15分

「推計震度分布図」

震度5弱以上を観測した場合に、観測した各地の震度データをもとに250m四方ごとに推計した震度(震度4以上)を図情報として発表し、気象庁ホームページに掲載。



「遠地地震に関する情報」

国外でマグニチュード7.0以上の地震や、大きな被害が発生する可能性のある地域で規模の大きな地震を観測した場合などに、震源やマグニチュード、日本や国外への津波の影響などについて地震発生から30分程度で発表。(国外で発生した大規模噴火を覚知した場合にも発表することがあり、その場合は噴火発生後1時間半～2時間程度で発表)

※1 緊急地震速報や震度情報で用いる区域の名称について
<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/shindo-name.html>

※2 緊急地震速報の種類(警報/予報)について
<https://www.data.jma.go.jp/ew/data/nc/shikumi/shousai.html#2>